

# 就学事務システム(学齡簿編製等) 標準化事業について

---

進捗報告

# 本日までの経過と今後の予定

2021年5月12日	文科省様とのキックオフ会議
2021年5月11日～6月9日	「標準仕様書(案)」に関する意見照会（以下、「パブコメ」）
2021年6月16日	文科省様との第1回定例会 …パブコメ意見の受領
2021年6月25日	文科省様との第2回定例会
2021年7月8日	APPLIC様より意見受領 …279件受領（うち重複117件、新規162件）
<b>2021年7月8日</b>	<b>第1回 有識者検討会</b>
2021年7月16日	文科省様との第3回定例会
2021年7月28日	文科省様との第4回定例会
<b>2021年8月11日</b>	<b>第2回 有識者検討会</b>



事務局にて  
パブコメ意見に  
対する検討

本日（第2回 有識者検討会）の主旨

**「パブリック・コメントを受けて、標準仕様書に対して、どのような修正するのか、又は、しないのかについてレビュー」**

- 資料2「【検討会向け】「就学事務システム（学齢簿編製等）に係るシステム標準仕様書（案）」に関する意見」分類と対応内容検討一覧」へのご意見をいただくこと
- 資料3「有識者検討会\_検討事項」についてご相談させていただくこと

2021年8月19日	文科省様との第5回定例会 …「標準仕様書」レビュー
2021年8月24日	「標準仕様書」完成・納品

# 「標準仕様書(案)」に関する意見照会の結果について

資料2「就学事務システム（学齢簿編製等）に係るシステム標準仕様書（案）」に関する意見の分類と対応内容検討一覧 参照

全体の総数は、下表の通りです。

## 【パブコメのみ】

分類	団体数	件数
自治体	24	159
ベンダー	12	258
大学	1	4
個人	-	3
合計	37	424

章	件数
第1章 本仕様書について	1
第2章 業務フロー等	22
第3章 機能要件	281
第4章 様式・帳票要件	106
第5章 データ要件	1
第6章 連携要件	7
第7章 非機能要件	0
第8章 用語	3
合計	420

第1回検討会の資料4でお配りをした「APPLIC就学事務TFの学齢簿抜粋課題一覧」の内容を追加し、全体で586件のご意見をいただきました。

## 【パブコメ+APPLIC】

分類	団体数	件数
自治体	24	159
ベンダー	14	420
大学	1	4
個人	-	3
合計	39	586

章	件数
第1章 本仕様書について	1
第2章 業務フロー等	39
第3章 機能要件	377
第4章 様式・帳票要件	153
第5章 データ要件	1
第6章 連携要件	7
第7章 非機能要件	0
第8章 用語	3
合計	580

# 「標準仕様書(案)」に関する意見照会の結果について

資料2「就学事務システム（学齢簿編製等）に係るシステム標準仕様書（案）」に関する意見の分類と対応内容検討一覧 参照

対応分類のサマリは、下表の通りです。

No.	種別	分類	対応内容の想定	対応分類	件数	
1	質問	-	検討対象外 標準仕様書（案）作成時の経緯や検討内容等の説明は、必要に応じて実施。	1_質問	39	
2	意見・提案	学校教育法施行規則第30条で定められた内容等、検討の余地がないもの	検討対象外	2-1_意見・提案_検討不要(変更なし)	260	
				2-2_意見・提案_検討不要(変更)	188	
3	意見・提案	標準仕様書（案）作成時に意見がわかれ、議論して結論を出したもの	<b>検討対象</b> 標準仕様書（案）作成時の経緯や検討内容等から再度検討が必要な内容なのか判断する	3_意見・提案_既出	1	77
4	意見・提案	標準仕様書（案）作成時に意見がわかれ、継続検討が必要と判断したもの	<b>検討対象</b> 標準仕様書（案）作成時の経緯や検討内容といただいた意見を合わせて、再度検討する	4_意見・提案_既出(継続検討)	0	
5	意見・提案	標準仕様書（案）作成時にはでていない新しい内容であるもの	<b>検討対象</b> 標準仕様書（案）作成時にベンダー及び自治体から入手した資料等の調査や、ヒアリング等を行い、新たに検討する	5_意見・提案_新出	76	
6	意見・提案	「地方自治体の業務システムの統一・標準化」の17業務間の整合性や連携を問うもの	<b>検討対象</b> 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室へ対応を相談の上、検討する	6_意見・提案_IT室(17業務)	21	
7	意見・提案	「地方自治体の業務システムの統一・標準化」以外に国等で行われている標準化の動き（例：貴省が進めている教育データ標準化等）との整合性や連携を問うもの	<b>検討対象</b> 主管室及び内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室へ対応を相談の上、検討する	7_意見・提案_IT室(その他)	1	22

586

いただいたご意見を標準仕様書に反映することを決めている課題が242件(41.3%)で、

「5\_意見・提案\_新出」の課題を中心に、現時点で15件の対応が確定できておらず、本日(8/11)ご意見をいただきたい。**3**

# 【参考】標準仕様書(案)整理の考え方

標準仕様書に記載のない機能(範囲外を除く)は、原則実装不可となるため、

- 仕様書ひな型
  - 自治体ヒアリング結果
- 等、検討した機能・帳票はすべて掲載する。

その上で、以下3つに分類する。(右記参照)

- ア. 実装すべき機能
- イ. 実装してもしなくても良い機能
- ウ. 実装しない機能

それぞれの位置づけは下表の通りを想定している。

仕様書ひな型



選定自治体への  
ヒアリング調査

- ①すべての自治体で同様の機能を要望している
- ②自治体ごとに要望は異なるが、望ましい仕様が定義できる
- ③一部の自治体ではあるが、必要性が認められる
- ④必要性が認められない、もしくは、操作性に関するものである
- ⑤上記いずれに分類するか協議が必要と考える

標準仕様書(案)



(ア)標準仕様書に盛り込むべき機能/実装すべき機能と考える

(イ)標準仕様書のオプション機能/実装してもしなくても良い機能と考える

(ウ)標準仕様書に盛り込まない機能/実装しない機能と考える

	分類	自治体	ベンダー
ア	実装すべき機能	調達時に、ベンダーに標準機能として要求することが可能。 ただし、利用を必須とはしない。	標準機能として実装することが必須。
イ	実装してもしなくても良い機能	調達時に <b>必要な場合は、当該機能を実装しているベンダから選定</b> する。	<b>実装するかしないかは、ベンダの判断にゆだねられ</b> 、実装した場合は標準機能として提供される。
ウ	実装しない機能	調達時にベンダーに要求してはいけない。	実装してはいけない。

# 「標準仕様書(案)」に関する意見照会の結果について

資料2「就学事務システム（学齢簿編製等）に係るシステム標準仕様書（案）」に関する意見の分類と対応内容検討一覧 参照

【ア. 実装すべき機能】【イ. 実装してもしなくても良い機能】【ウ. 実装しない機能】ごとの内訳は以下の通りになる見通しです。

	標準仕様書(案)		
	ア. 実装すべき機能	イ. 実装してもしなくても良い機能	ウ. 実装しない機能
<b>機能要件</b>			
a. 管理項目	35	11	4
b. 基本機能	2	1	0
c. 業務要件	89	10	10
d. バッチ処理	5	0	0
e. 操作	0	3	0
f. 抑止設定	2	0	1
g. 自治体判断機能	7	5	0
h. マスタ・パラメータ	6	0	0
i. 共通	19	1	0
小計	165	31	15
	78.2%	14.7%	7.1%
	84.2%	15.8%	—
<b>帳票要件</b>			
小計	80	6	19
	74.8%	5.6%	17.8%
	90.9%	6.8%	—
合計	245	37	34
	77.0%	11.6%	10.7%
	86.3%	13.0%	—

標準仕様書 見込み		
ア. 実装すべき機能	イ. 実装してもしなくても良い機能	ウ. 実装しない機能
34	12	4
2	1	0
89	10	10
5	0	0
0	3	0
2	0	1
7	5	0
6	0	0
19	1	0
164	32	15
77.7%	15.2%	7.1%
83.7%	16.3%	—
80	8	19
74.8%	7.5%	17.8%
90.9%	9.1%	—
244	40	34
76.7%	12.6%	10.7%
85.9%	14.1%	—

【イ. 実装してもしなくても良い機能】に追加・変更したものは、システムの導入形態(例:住民票システムと一体型か否か)により実装の有無が異なるものと、自治体規模等の違いによる運用パターンを吸収するものの2種類とした。

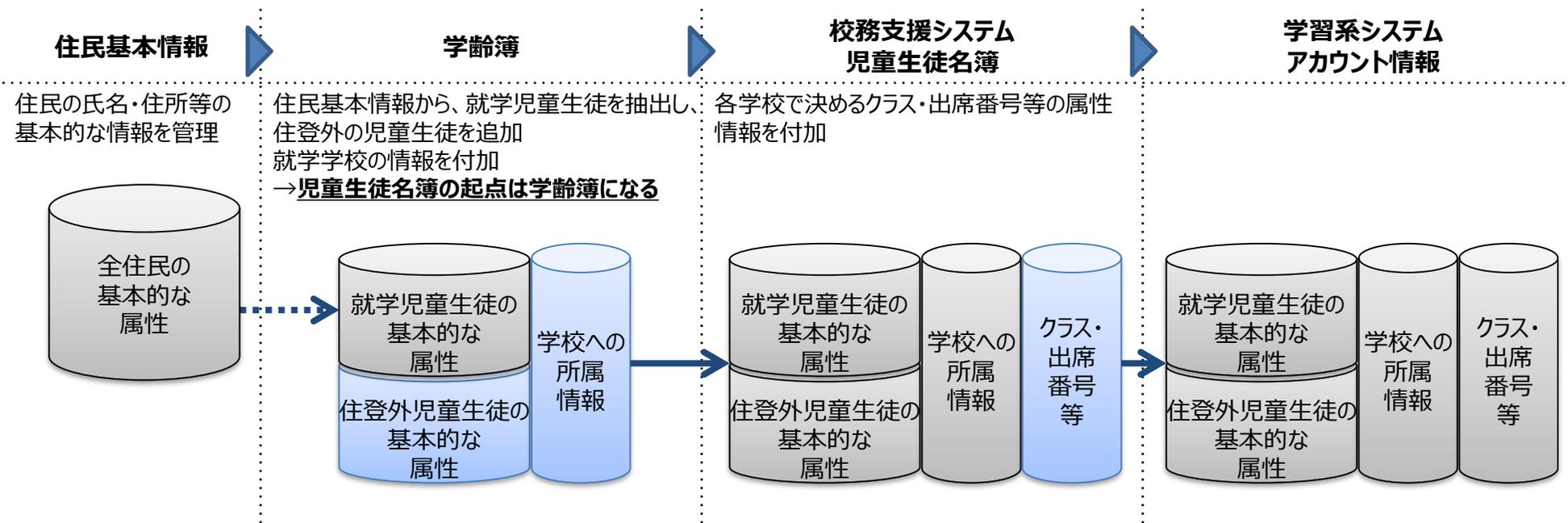
# 「標準仕様書(案)」に関する意見照会の結果について

## 【ア. 実装すべき機能】【イ. 実装してもしなくても良い機能】【ウ. 実装しない機能】を変更した例

- 【イ. 実装してもしなくても良い機能】→【ア. 実装すべき機能】
  - ・ 日本国籍か外国籍かに関わらず、正式氏名(本国名)・通称氏名を管理する
  - ・ 検索履歴の保持機能
- 【ウ. 実装しない機能】→【ア. 実装すべき機能】
  - ・ 市区町村内の学校でも、退学年月日を管理する
  - ・ 外国籍児童生徒については、併記名も管理する
- 【ア. 実装すべき機能】→【イ. 実装してもしなくても良い機能】
  - ・ 世帯番号、世帯主宛名コード、世帯主氏名、世帯主カナ氏名を管理する
  - ・ 学齢簿変更届出年月日を管理する
  - ・ 住民記録情報からの自動反映機能
- 【イ. 実装してもしなくても良い機能】に追加
  - ・ 区域外就学 審査結果を管理する
  - ・ 児童生徒の住民票住所以外の居所を管理する
  - ・ 通学区域変更時の変更後データ及びクラスデータの一括取込機能
  - ・ 指定校変更不許可通知書及び区域外就学不許可通知書
- 【ウ. 実装しない機能】→【イ. 実装してもしなくても良い機能】
  - ・ 保護者性別、保護者氏名（通称）を管理する
  - ・ 行政区コード、住所コードを管理する
  - ・ 区域外就学または就学校変更申請年月日、区域外就学または就学校変更許可年月日を管理する
  - ・ 入学式の受付時間を管理する
  - ・ 漢字文字の照会機能
  - ・ 連帳プリンタを利用した印刷
- 【イ. 実装してもしなくても良い機能】→【ウ. 実装しない機能】
  - ・ 児童生徒電話番号、児童生徒携帯番号、児童生徒メールアドレスを管理する

# 【参考】児童生徒名簿の流れとデータ「標準化」の規格

今後、共通事項（非機能要件）、データ要件、連携要件は、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室が主導で定義される予定です。



## 文科省：就学事務システムの標準仕様書作成

地方自治体の業務システム標準化(17業務)

## J-LIS：中間標準レイアウト V2.7

データ移行を円滑に行うために標準的データ形式を定めた仕様

## APPLIC:地域情報プラットフォーム標準【就学V3.6】

様々なシステム間の連携を可能にするために定めた標準仕様

【校務基本情報データ連携  
小中学校版V2.0】

## IMS：OneRoster

校務と学習系をつなぐための名簿連携に関する国際技術標準